

#エンジンを止めるな!

第18回全日本高等学校ゼロハンカー大会
24分耐久レース

DVD

RSK山陽放送
2021年1月24日放送

全日本高等学校ゼロハンカー大会公式ブログ
<https://blog.goo.ne.jp/hs-zerohancar>

日刊自動車新聞

2021年(令和3年)1月20日(水曜日)

西日本版 掲載

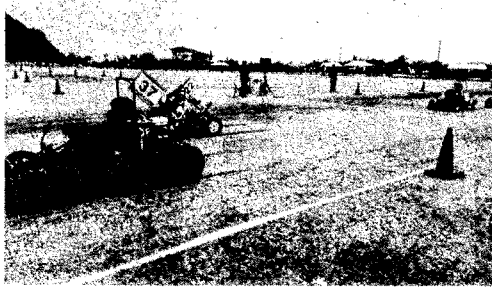
全日本高校ゼロハンカー大会

56台がしのぎ削る

人材育成も視野に

【岡山】全国工業高等学校校長協会と全国自動車教育研究会西日本地区は、高校生が自作したフレームに排気量50cc未満のエンジンを搭載した車両で競う耐久レース「第18回全日本高等学校ゼロハンカー大会24分耐久レース」を浅口市の三ツ山スポーツ公園内特設コースで開催した。写真。27校から56台が出場し、創意工夫を凝らして製作したマシンでしのぎを削った結果、おかやま山陽高等学校の「山陽SPEED 1号」が優勝を飾った。

同大会は、自動車のものづくりを担う人材の育成が狙い。生徒らは車両製作と耐久レース参加を通じて、機械加工技術や車両構造に対する理解を深めるとともに、ものづくりの楽しさやチームワークの大切さを学んだ。



競技の様子は地元テレビ局が特別番組として24日に60分枠で放送する。日本自動車販売協会連合会岡山県支部(梶

谷俊介支部長)と岡山県自動車整備振興会・同商工組合(梶谷俊介会長・理事長)に加え、県内ディーラーもスポンサードした。この放送を通じて若年層にクルマの面白さや楽しみ方を発信し、将来のものづくりを担う人材の育成につなげたい意向だ。

上位3校は次の通り。(カッコ内は車両名)

- 優勝 〓 おかやま山陽高校 (山陽SPEED 1号) ▽
- 2位 〓 岡山県立笠岡工業高校 (笠工 突風丸) ▽
- 3位 〓 岡山県立興陽高校 (興陽羅王奪還号)

2020年(令和2年)

12月28日
月曜日

地域とともに

発行所

山陽新聞社

岡山市北区柳町2-1-1

電子版山陽新聞デジタル

<https://www.sanyonews.jp>

山陽新聞

全日本高校ゼロハンカー

山陽3度目V 笠岡工準優勝

浅口

高校生が自作の四輪

が準優勝した。

バギー(排気量50cc未

満)で競走する第18回

全日本高校ゼロハンカ

ー大会(全国工業高校

長協会など主催)が27

日、浅口市寄島町の三

ツ山スポーツ公園新多

目的広場であった。山

陽高の「山陽SPEE

D1号」が優勝、笠岡

工業高の「笠工突風丸」

岡山、広島、大阪な

ど西日本10府県から

26校55台が出場。予

選走行で勝ち上がった

10台が決勝の24分間耐

久レースに挑み、土の

グラウンドに設けられ

た1周約600mのコ

ースで周回数を競っ

さんデジに
動画 撮影



た。

ドライバーは加速後

のコーナリングなどで

巧みなハンドルさばき

を見せ、車両は砂煙を

上げて疾走。途中のピ

ットインでは整備担当

の生徒が給油や部品の

調整で活躍した。

23周した山陽SPE

ED1号のドライバ

ー、横山弘樹さん(17)

3年)は「軽さを追

求した車両づくりなど

チームで勝ち取った優

勝」と話した。山陽高

チームの優勝は5年ぶ

り3度目。県内では他

に興陽高が3位に、山

陽高の別チームが5位

決勝で力強い走りを見せるゼロハンカー

を見せ、車両は砂煙を上げて疾走。途中のピットインでは整備担当の生徒が給油や部品の調整で活躍した。23周した山陽SPEED1号のドライバー、横山弘樹さん(17)3年)は「軽さを追求した車両づくりなどチームで勝ち取った優勝」と話した。山陽高チームの優勝は5年ぶり3度目。県内では他に興陽高が3位に、山陽高の別チームが5位に入賞した。

(富田陽平)